事業番号	09　03　03

事業改善シート（31年度実施事業分）

■当初要求　□当初予算案　□補正予算案　□点検

事業名	野生鳥獣被害総合対策事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
		実施期間	H17 ～	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp

総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）

総合的に展開する重点政策	6-1 個性豊かな地域づくりの推進

1 事業の概要

現状（予算編成時）	○野生鳥獣による農作物被害の現状はH20年度より10年連続で減少しているものの、H29年度農業被害額は、550,842千円で全国5番目に大きく、依然高い水準にある。 ○地球温暖化による環境変化に伴う、野生鳥獣の生息区域が広域化や、中山間地域の集落活動の低下、狩猟者の減少・高齢化などへの対応が必要になっている。	31年度要求額	252,689 千円
		職員数	6.00 人

目指す姿	集落全体で住民自らが地域の実情に合わせて、防除対策・捕獲対策・生息環境対策・ジビエ振興を複合的に組み合わせた被害対策が実施され、将来的にも持続可能な自立した防除体制が構築されている。 （主な実施内容：地域における被害防止を図るため、侵入防止柵や捕獲機材の導入等を支援）

事業コスト

区分（単位：千円）		29年度	30年度	31要求	31予算案
予算額	前年度繰越	3,000			
	当初予算	369,934	369,799	252,689	
	補正予算	-204,000			
	合計（A）	168,934	369,799	252,689	0
Aの財源	一般財源	554	544	549	
	県債				
	国庫支出金	166,000	367,000	250,000	
	その他	2,380	2,255	2,140	0
決算額（B）		151,542			
概算人件費	職員数（人）	6.00	6.00	6.00	
	概算人件費（C）	48,612	48,612	48,612	0
概算事業費（B(A)+C）		200,154	418,411	301,301	0

指標及びその達成状況

No	成果指標	29年度末	30年度末（見込）	31年度 目標値	31年度 成果	31年度 達成状況
①	野生鳥獣による農林業被害額（千円）	836,110	794,305	754,589		

成果指標設定理由	①野生鳥獣による農林業被害の低減により、中山間地域等の活動の持続を図れるため。

指摘事項等への対応	指摘事項・意見	対応
□ 監査 □ 決算特別委員会 □ 県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	

2 事業を構成する細事業の内容

（単位：千円）

No	細事業名	31年度　実施内容（予定）	職員数（人）	30年度（当初）	31年度（要求）	31年度（予算案）
1	野生鳥獣被害総合対策事業	地域における被害防止を図るため、市町村等が行う侵入防止柵や捕獲機材の導入等を支援	6.00	369,799	252,689	
		合計	6.00	369,799	252,689	0

事　業　改　善　シ　ー　ト　附　表

■当初要求　□当初予算案　□補正予算案　□点検

事業番号	事　業　名	野生鳥獣被害総合対策事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
09 03 03						

細事業No	細事業名	項目	実施方法	31年度　実施内容（予定）	31年度　実施内容（実績）	31年度実施状況	29年度 当初（千円）	30年度 当初（千円）	31年度 要求（千円）	31年度 当初（千円）	31年度 補正（千円）	31年度 決算（千円）
1	野生鳥獣被害総合対策事業	集落組織体制整備事業	直接	・集落の実情にあった野生鳥獣被害対策を総合的に支援するための需用費			536	536	536			
1	野生鳥獣被害総合対策事業	野生鳥獣対策支援体制整備事業	直接	・野生鳥獣被害対策に係る現地支援体制の強化のため、地域の被害対策に必要な資材等の整備			1,844	1,719	1,604			
1	野生鳥獣被害総合対策事業	集落ぐるみ捕獲体制整備事業	直接	・「集落等捕獲隊」の設置現地研修会の開催 ・農業者を核とした「集落等捕獲隊」の設置支援			360	350	350			
1	野生鳥獣被害総合対策事業	経常経費	直接	・専門的指導経費旅費、集落体制支援需用費			194	194	199			
1	野生鳥獣被害総合対策事業	鳥獣被害防止総合対策事業	交付金	・地域ぐるみによる総合被害対策の取組を支援			367,000	367,000	250,000			
合　　計							369,934	369,799	252,689	0	0	0